

第四期中期目標（案） 新旧対照表

修正前	修正後
前文 (略) 第四期中期目標期間においては、名古屋市とともに発展する大学として、名古屋市総合計画の掲載事業の推進はもとより、持続可能な開発目標（SDGs）をはじめ世界規模で発生する高度かつ複雑な課題にも視野を広げて取り組む。また、時代の潮流に柔軟に対応し、産業界や行政などとの連携を一層強化する。<u>こうしたことにより、</u>名古屋市を中心とする地域の諸問題の分析・解決に寄与し、ひいては国際社会へ貢献する。さらには、将来にわたって健全で自律的な法人運営を持続し、全学が一体となって社会ニーズに対応した教育・研究・社会貢献・医療に取り組む。これらを通じて、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさの実現をめざし、多様性と包摂性のある持続可能な社会の構築に貢献し、学生や研究者に選ばれ、世界をリードする魅力ある大学をめざす。 (略) 第 5 国際化に関する目標 (略) 4 地域の国際化への寄与 <u>アジア・アジアパラ競技大会を契機に、</u>名古屋市と連携して多文化共生を推進し、地域の国際化に寄与する。	前文 (略) 第四期中期目標期間においては、名古屋市とともに発展する大学として、名古屋市総合計画の掲載事業の推進はもとより、<u>アジア・アジアパラ競技大会への協力や大会後のレガシーの形成、</u>持続可能な開発目標（SDGs）をはじめ世界規模で発生する高度かつ複雑な課題にも視野を広げて取り組む。また、時代の潮流に柔軟に対応し、産業界や行政などとの連携を一層強化する。<u>こうしたことを名古屋市と協働で取り組むことにより、</u>名古屋市を中心とする地域の諸問題の分析・解決に寄与し、ひいては国際社会へ貢献する。さらには、将来にわたって健全で自律的な法人運営を持続し、全学が一体となって社会ニーズに対応した教育・研究・社会貢献・医療に取り組む。これらを通じて、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさの実現をめざし、多様性と包摂性のある持続可能な社会の構築に貢献し、学生や研究者に選ばれ、世界をリードする魅力ある大学をめざす。 (略) 第 5 国際化に関する目標 (略) 4 地域の国際化への寄与 <u>学生による地域での活動や留学生との交流機会の提供など、</u>名古屋市と連携して多文化共生を推進し、地域の国際化に寄与する。